

## 第19回「このミステリーがすごい！大賞」

# 「文庫グランプリ」を新設

## 受賞作『暗黒自治区』『甘美なる誘拐』発売

(2021年3月4日)

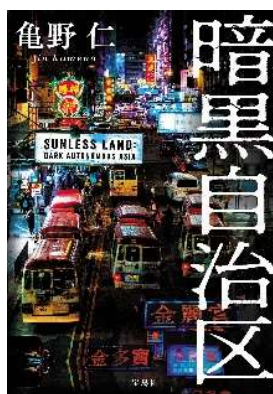
(2021年4月7日)

株式会社宝島社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:蓮見清一)が主催する、第19回『このミステリーがすごい!』大賞の「文庫グランプリ」を受賞した『暗黒自治区』を2021年3月4日、『甘美なる誘拐』を2021年4月7日に宝島社文庫レーベルから発売します。

『このミステリーがすごい!』大賞では、今年度より「文庫グランプリ」を新設しました。当賞は、ミステリー&エンターテインメント作家・作品の発掘・育成を目的に、2002年に創設した新人賞です。当賞では、受賞作品のみならず『死亡フラグが立ちました!』『珈琲店タレーランの事件簿』『スマホを落としただけなのに』など多くの書下ろし文庫作品が、作家のデビュー作にもかかわらず、映画やドラマなど映像化されるヒットシリーズとなっています。

文庫本は、誰もが手に取りやすい身近な活字コンテンツです。どこにでも持ち運べるサイズと、手ごろな価格帯は、読書人口の裾野を広げ、活字文化を支えてきました。宝島社は、「文庫グランプリ」の創設により、活字文化を支えてきた文庫本の価値と可能性に改めてスポットをあて、多くの新しい作家たちの、作家人生のスタートと成長の機会を創出したいと考えています。また、読者が手軽に読める面白い作品を生み出していくことで、業界のさらなる活性化に寄与していきます。受賞者のインタビューも可能ですので、ぜひ、取材をご検討くださいますと幸いです。

## 「文庫グランプリ」受賞作品が、宝島社文庫レーベルで発売



### 『暗黒自治区』

亀野仁(かめの・じん)

隣国に侵食された日本で、犯人護送車が謎の武装グループに襲撃される。骨太のディストピア警察活劇!

定価: 本体880円(税込) 発売日: 2021年3月4日



### 『甘美なる誘拐』

平居紀一(ひらい・きいち)

ヤクザ稼業はトラブル稼業。組員未満の二人に、無理難題が押し寄せる。宗教団体の利権を狙った犯行の結末は……?

定価: 本体880円(税込) 発売日: 2021年4月7日

※表紙は作成中

第19回大賞受賞作品は、  
発売からわずか1カ月半で  
18万部突破!!

TBSテレビ「王様のブランチ」  
TBSラジオ「伊集院光とらじおと」  
関西テレビ「セブンルール」に著者出演!



### 『元彼の遺言状』

新川帆立(しんかわ・ほたて)

「僕の全財産は、僕を殺した犯人に譲る」という元彼の奇妙な遺言を受け、女性弁護士が依頼人と共謀して分け前を狙う遺産相続ミステリー!

定価: 本体1540円(税込) 発売日: 2021年1月8日 四六判



隣国に侵食された、  
ディストピアな日本が舞台。  
濃密でスリリングな警察アクション！

受賞コメント

これまで数回『このミス』大賞にチャレンジしては敗退し、自分の才能や実力に疑問を感じ始めていた中、今回の応募作を書き始めました。それが文庫グランプリをいただいて出版される運びとなったのは望外の喜びです。「小説を書く」ということのコツを掴んだと言うのはおこがましいかもしれませんが、その尻尾に手が一瞬触れたような気がしました。



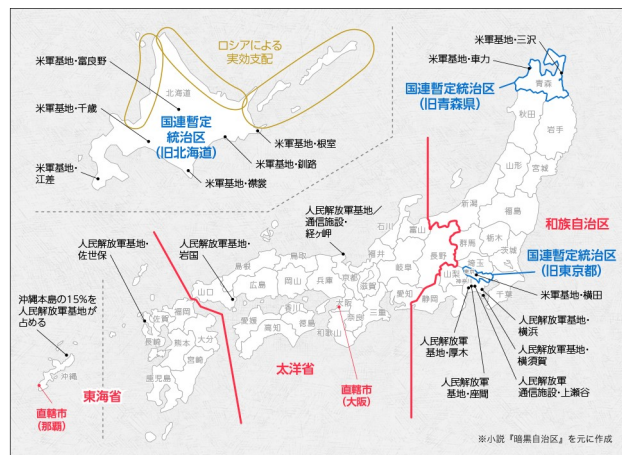
©Michiko Takio

亀野 仁(かめの・じん)

1973年、兵庫県西宮市生まれ。1991年に渡米し、大学進学。卒業後も米国に留まり、NYにて映画助監督やCM海外撮影コーディネーター／プロデューサーとして約10年間活動。帰国後は映像制作会社、大手広告代理店勤務を経て、広告映像制作会社を仲間と共同設立、同社取締役役に就任。第19回『このミステリーがすごい！』大賞・文庫グランプリを受賞し、本作でデビュー。

『暗黒自治区』

定価：本体880円(税込) 発売日：2021年3月4日



【あらすじ】

隣国に侵食され、〈太洋省〉〈東海省〉〈直轄市〉〈和族自治区〉そして〈国連暫定統治区〉に分かれて統治された日本列島で、〈拉致チーム〉の一員にスカウトされた由佳は、旧東京で〈中央〉政府高官の拉致作戦に参加して失敗、警察に身柄を拘束されてしまう。ところが、神奈川県公安局から国連警察への護送中、由佳を乗せた車両は高速道路で何者かに襲撃される。果たして、犯人グループの目的は何なのか。護送を担当していた神奈川県公安局の雑賀は、とある事情から由佳を逃がすべく決死の逃避行を開始する――。

特設サイト：<https://tkj.jp/campaign/bunkogp/ankoku/>  
CM：<https://www.youtube.com/watch?v=GUiR-SEpaos>

映像プロデューサーでもある  
著者が手がけたCMも公開しています！



※表紙は作中

最終選考委員も騙された！！  
衝撃のどんでん返しが待ち受ける誘拐ミステリー！

受賞コメント

『このミス』大賞は難しい新人賞で、かつ今年は激戦と聞いていたので、良い成績を収められてうれしく思っています。小学校時代は本好き少年でしたが、すっかりそんな過去を忘れ、アウトドア男に成り果てた頃、変な妄想がときどき浮かぶようになり、それをつないでいくと変なストーリーになりました。それが本作です。



平居 紀一(ひらい・きいち)

1982年8月、東京都生まれ、岐阜県在住。岐阜大学医学部卒業。現在も医師として勤務。新潮ミステリー大賞第5回、第6回ともに最終候補。3作目の本作で『このミス』大賞文庫グランプリを受賞。よく読むのは歴史書。趣味は登山・クロスカントリー・溪流釣り。座右の銘は持たない主義。

『甘美なる誘拐』

定価：本体880円(税込) 発売日：2021年4月7日



# 過去の受賞者には、ミリオンセラー作家や直木賞受賞者が！！



©ホンゴウジ

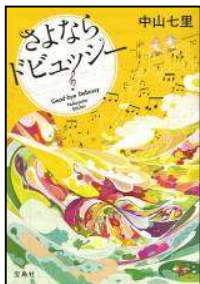


## 第4回大賞受賞 『チーム・バチスタの栄光』

海堂 尊 (かいどう・たける)

1961年、千葉県生まれ。医学博士。  
第4回『このミステリーがすごい！』大賞受賞作『チーム・バチスタの栄光』にて2006年デビュー。  
2008年～2014年にかけて、伊藤淳史 & 仲村トオル主演で映画化&連続ドラマ化。

ミリオンセラー作家  
シリーズ累計  
**1066万部突破！**  
2008年～  
**映画化！&ドラマ化**



## 第8回大賞受賞『さよならデューシー』

中山七里 (なかやま・しちり)

1961年、岐阜県生まれ。『さよならデューシー』にて第8回『このミステリーがすごい！』大賞受賞。2013年には橋本愛主演で同作が映画化。2016年には黒島結菜・東出昌大主演でドラマ化。2017年9月には『連続殺人鬼カエル男』の主要キャラクター・渡瀬が主人公となる『テミス剣』(文藝春秋)が上川隆也主演でドラマ化。

2016年～  
**TVドラマ&映画化！**  
『さよならデューシー』シリーズ  
累計**146万部突破**



## 第1回大賞受賞 『逃亡作法 TURD ON THE RUN』

東山 彰良 (ひがしやま・あきら)

1968年、台湾生まれ。福岡県育ち。  
第1回『このミステリーがすごい！』大賞受賞作『逃亡作法 TURD ON THE RUN』にて2003年デビュー。『路傍』(集英社)にて第11回大藪春彦賞を受賞。『流』(講談社)にて第153回直木賞を受賞。

第153回  
**直木賞  
受賞作家**



## 第15回大賞受賞『がん消滅の罠 完全寛解の謎』

岩木 一麻 (いわき・かずま)

1976年、埼玉県生まれ。千葉県在住。  
国立がん研究センター、放射線医学総合研究所で研究に従事。現在、医療系出版社編集部勤務。第15回『このミステリーがすごい！』大賞受賞、2017年デビュー。

2018年  
**ドラマ化！**



## 第10回隠し玉『珈琲店タレーランの事件簿』

岡崎 琢磨 (おかざき・たくま)

1986年福岡県生まれ。京都大学法学部卒業。2012年、第10回『このミステリーがすごい！』大賞隠し玉として『珈琲店タレーランの事件簿 また会えたなら、あなたの淹れた珈琲を』でデビュー。同書は2013年、第1回京都本大賞に選ばれた。

シリーズ累計  
**255万部突破**



## 第15回隠し玉『スマホを落としたけなのに』

志駕 晃 (しが・あきら)

1963年生まれ。神奈川県横浜市在住。明治大学商学部卒業。ニッポン放送入社後、「ウッチャンナンチャンのオールナイトニッポン」「中居正広のSome girl」SMAPなど多数のラジオ番組制作に関わる。第15回『このミステリーがすごい！』大賞の隠し玉として『スマホを落としたけなのに』で、2017年デビュー。

2018年～  
**映画化**  
シリーズ累計  
**106万部突破**

### ■『このミステリーがすごい！』大賞とは？

ミステリー&エンターテインメントブックガイド『このミステリーがすごい！』を発行する宝島社が、新時代の新しいミステリー&エンターテインメント作家・作品の発掘・育成を目的に、2002年に創設した新人賞。大賞賞金は文学賞最高額である1200万円。受賞作はすべて書籍化。第153回直木賞を受賞した東山彰良氏や、累計1000万部突破の『チーム・バチスタの栄光』シリーズの海堂尊氏などの作家を輩出している。受賞作品からは多数のベストセラーが生まれ、『警視庁捜査二課・郷間彩香 特命指揮官』(梶永正史・2016年テレビドラマ化)、『一千兆円の身代金』(八木圭一・2015年テレビドラマ化)、『がん消滅の罠 完全寛解の謎』(岩木一麻・2018年テレビドラマ化)など、映像化作品も多数世に送り出している。また、受賞には及ばなかったものの、将来性を感じる作品を「隠し玉」として他の受賞作と同様に書籍化しており、『スマホを落としたけなのに』シリーズ(志駕晃・2018年、2020年映画化)などの話題作も生み出している。

